

高度外国人材が大学での専門をいかして働き、
同じ国の技能実習生のサポートも担う体制にした。

CASE 02

COMPANY

株式会社岩手ファーム



企業概要

- 企業名:株式会社岩手ファーム
- 所在地:岩手県盛岡市下田字生出731番地7
- 設立年:1977年
- 資本金:8,000万円
- 従業員数:228名
うち高度外国人材2名／国籍内訳:ベトナム2名
- 業種:畜産業
- ホームページ:<https://www.iwate-farm.co.jp>

事業内容

1956年、岩手県二戸市で養鶏業を創業。1977年、現在地に有限会社岩手ファームを設立。鶏卵の生産と製造・販売、醗酵鶏糞肥料の製造・販売を行っている。2010年に香港、2019年に台湾への輸出を開始した。

企業インタビュー



専務取締役兼総務部長
中村 真理子 氏

高度外国人材を受け入れたきっかけ・背景

ベトナム人技能実習生の採用を予定していたから

例年どおりの新卒採用活動をしていたところ、高度外国人材の応募者に会いました。言葉も文化も異なる日本に留学しているだけあり、適応力が高く、語学力も理解力も素晴らしい上に何事にも素直に前向きに取り組もうという姿勢もあります。当時、ベトナム人技能実習生の採用を予定していたため、そのフォローも業務の一つとして任せたいと考え、採用を決めました。

高度外国人材受け入れに当たっての取組内容

37年前から農業技術支援のために中国人を受け入れていた

当社では37年前から、農業技術支援を目的として中国人を受け入れ、お互いの国を行き来して交流を深めてきました。そのような環境なので、社員全員が、外国人と働くことに慣れていました。高度外国人材を初めて雇用したときも、みんな、自然に受け入れていましたね。私たちが普段から心がけているのは、相手の文化や考え方を尊重することです。

高度外国人材採用に当たっての課題と解決策

監理団体との信頼関係が、良い人材の採用につながっている

高度外国人材の二人は、大学卒業時には既にN1の日本語レベルにあり、面接でもしっかりとコミュニケーションが取れていましたので、高度外国人材の採用には課題は感じていません。技能実習生の採用時には、雇用条件などに行き違いがないように、高度外国人材のタオさんに通訳として同席してもらっています。

今年7月、高度外国人材が一人増えます。バングラディッシュの大学を

卒業して自国で働いていたのですが、縁があって、当社に入社することになりました。日頃からお付き合いのある監理団体に相談し、フォローしていただくことにしました。監理団体との信頼関係が築けていると、より良い人材を採用できる可能性が広がるだけでなく、協力して外国人材をしっかりサポートする体制ができると思います。

高度外国人材定着に当たっての課題と解決策

母国語で相談できる社員同士の支え合いが、定着につながるのかも

高度外国人材を採用した狙いの一つが、外国人社員の定着です。現在12名の技能実習生が勤務していますが、仕事面でも生活面でも良好な関係を保てるようにと、非常に気を使います。今は、高度外国人材の二人が、後輩たちのプライベートまでフォローしてくれているので助かっています。母国語で相談できる相手があると、心強いはずです。逆に、後輩社員に頼られることは、二人の支えになるのかもしれないですね。

高度外国人材の二人に配慮していることは、業界用語。ちょっと特殊なので、仕事の手順を説明するときは、内容を復唱してもらったり、要点をまとめてもらったりして、理解できたかどうか確認した上で、仕事を任せるようにしています。

高度外国人材活用による成果・変化

人柄や仕事ぶりでお互いを評価し、協力しあうようになった

今、当社にはベトナム人、中国人、日本人が働いています。もともと日本以外の国の人たちを受け入れる土壌はありましたが、一緒に仕事をする中で、日本人社員たちの視野がより一層広がっていると感じます。国籍や雇用形態を見るのではなく、人柄や仕事ぶりを見て、お互いを評価し、協力しあっているようです。それが、新しい取り組みに挑戦したり、会社の変化にも柔軟に対応したりする意識を醸成していると感じ

じます。

37年前に中国と農業交流を始めたころとは違って、今、日本の人手不足は深刻化して、外国人材に頼らなければ事業が立ち行かないかもしれません。国籍にとらわれず、優秀な人材を採用する必要があります。これからも、高度外国人材だと区別するのではなく、一社員として、特別視せずに迎え入れていきたいですね。

高度外国人材社員インタビュー

INTERVIEW

日本語を更に磨きながら、 総務の仕事に極めたいです。

NINH THI THAO 氏
(ニンティタオ)

国籍：ベトナム 2020年入社



入社理由

ベトナムの高校を卒業したあと、盛岡市内の日本語学校で1年半、日本語を勉強してから岩手大学に入学しました。主専攻は法律・経済です。経理や会計を学び、在学中に簿記の資格を取りました。専門をいかせる仕事がしたいと考えていたところ、岩手ファームを知ったのです。大学の就職支援を受けて面接に臨み、仕事の内容に興味があったので入社を決めました。

業務内容

総務部に配属され、希望どおり人に関わる仕事をしています。具体的に、経理、人事評価制度のプロセス管理や評価など人事管理、新卒採用、資格取得の事務手続きなど社員教育に関する仕事も任されています。また、ベトナム人技能実習生のサポートも重要な仕事です。主に生活面をフォローしたり、勉強会を開いて日本語を教えたりしていますね。

東北地域で働く理由・良さ

日本に来てからずっと盛岡市に暮らしています。至るところに森や林があり、緑を感じられて、そこから季節の変化を感じられるのがいいですね。

東北地域に限らないかもしれませんが、日本人は、上司と部下、また同僚同士がほどよい距離感を保ちながら、責任を持って仕事をするので、とても働きやすいと感じています。

今後のキャリアプラン

入社してまもなく4年になりますが、今は、とにかく仕事の知識を深め、興味を持ち、何事にも積極的に行動するように心がけています。これからは、まず、経理と簿記のスキルを磨きたいです。また、鶏卵の生産・製造について更に理解を深め、会社説明会のときに就活生たちにもっと伝えられるようにしたいです。そのためにも、自分の日本語をもっと磨きます。